

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

スタンレー電気株式会社広島製作所

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市志和町奥屋1866番地

(3) 業種

電気照明器具製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

2019年度を基準年度とし2020年度から2029年度までの10年間とする
現在カーボンニュートラルを考慮してさらに2029年度までの10年間の目標値を策定中

3 計画の基本的な方向

1. 環境基本理念

スタンレーグループは、かけがえのない地球とその生態系の豊かな恵みを、健全な状態で次世代に引き継ぐため、全ての企業活動を通じて環境に与える負荷を最小限にし、“豊かな価値の創造と環境との調和”を実現します。

2. 環境方針

私たちは、「環境基本理念」に基づき、自動車機器事業・コンポーネンツ事業・電子応用製品事業を主とする企業活動において、一人ひとりの環境保護への取組に対する役割と責任を認識して行動します

1)スタンレーグループの活動・製品及びサービスの各領域において、ライフサイクル全体で環境目標を設定し、グローバルで汚染の予防、気候変動の緩和及び持続可能な資源の利用を含む環境保護を推進します。

2)各国・地域の環境に関わる法規制及びスタンレーグループが同意するその他の要求事項を順守し、必要に応じて自主基準を設定して管理を行います。

3)環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的改善を行います。

4)環境教育・広報活動を実施し、全従業員及びスタンレーグループのために働く全ての人に環境基本理念・環境方針の理解と環境に関する意識向上を図るとともに、取引先にも周知して理解と協力を要請します。

5)環境基本理念・環境方針は、一般の人々が入手できるようにします。
また、環境保全活動状況は、社外の要求に応じて開示し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

6)行政機関・地域や関係団体等と連携し、地域社会の環境保全活動に積極的に参画します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

| 温室効果ガスの種類 | 温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ） | |
|-----------|-------------------------------|-------------|
| | 基準年度 | 直近年度 |
| | 令和元（2019）年度 | 令和3（2021）年度 |
| 二酸化炭素 | 3,522 | 5,416 |

【非エネルギー起源二酸化炭素】

| 温室効果ガスの種類 | 温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ） | |
|-----------|-------------------------------|---------|
| | 基準年度 | 直近年度 |
| | 平成（ ）年度 | 令和（ ）年度 |
| 二酸化炭素 | | |

【その他温室効果ガス】

| 温室効果ガスの種類 | 温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ） | |
|---|-------------------------------|---------|
| | 基準年度 | 直近年度 |
| | 平成（ ）年度 | 令和（ ）年度 |
| メタン | | |
| 一酸化二窒素 | | |
| その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3) | | |

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

| 温室効果ガスの種類 | 基準年度 (平成 () 年度) | 削減目標 | | 目標年度 (令和 () 年度) |
|------------------|---------------------|------------|------------|---------------------|
| | 排出量 (a) | 削減率 (b) | 削減量 (c) | 排出見込量 (d) |
| エネルギー起源CO2 | | | | 0 |
| 非エネルギー起源CO2 | | | | 0 |
| メタン | | | | 0 |
| 一酸化二窒素 | | | | 0 |
| その他 温室効果ガス | | | | 0 |
| 温室効果ガス 実排出量総計 | | | | 0 |
| 温室効果ガス みなし排出量 | | - | | 0 |
| 目標設定の考え方 | | | | |

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

付加価値額

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

| 温室効果ガスの種類 | 基準年度 (令和元 (2019) 年度) | | | 原単位 削減目標 | 目標年度 (令和 (11) 年度) | | |
|--------------------------|---|------------------|------------|-------------|------------------------|--------------------|------------------|
| | 排出量 (a) | 原単位 数値 (b) | 原単位 (c) | 削減率 (d) | 排出 見込量 (e) | 原単位 見込数値 (f) | 原単位 見込 (g) |
| エネルギー起源CO2 | 3,522 | 9,675 | 0.36 | 52.8 | 2,859 | 17,100 | 0.17 |
| 非エネルギー起源CO2 | | | | #VALUE! | | | |
| メタン | | | | #VALUE! | | | |
| 一酸化二窒素 | | | | #VALUE! | | | |
| その他 温室効果ガス | | | | #VALUE! | | | |
| 総排出量 | | | | #VALUE! | | | |
| エネルギー消費原単位 (原油換算 k 1) | - | - | | 0.0 | - | - | |
| 目標設定の考え方 | 付加価値原単位と原単位年1%の削減率 排出量は2030年40%の削減を目標とする | | | | | | |

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

| | 項目 | 数値目標 | 具体的な取組 |
|---|----------|-----------|--|
| 1 | 電気使用量の削減 | 原単位で年1%削減 | 蛍光灯のLED更新 太陽光発電の追加設置 蓄電池設置 地熱利用の冷暖房 廃熱の再利用 廃熱の暖房利用 省エネ型設備設置と運用 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

| | 種類 | 合計量 |
|---|----|-----|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |

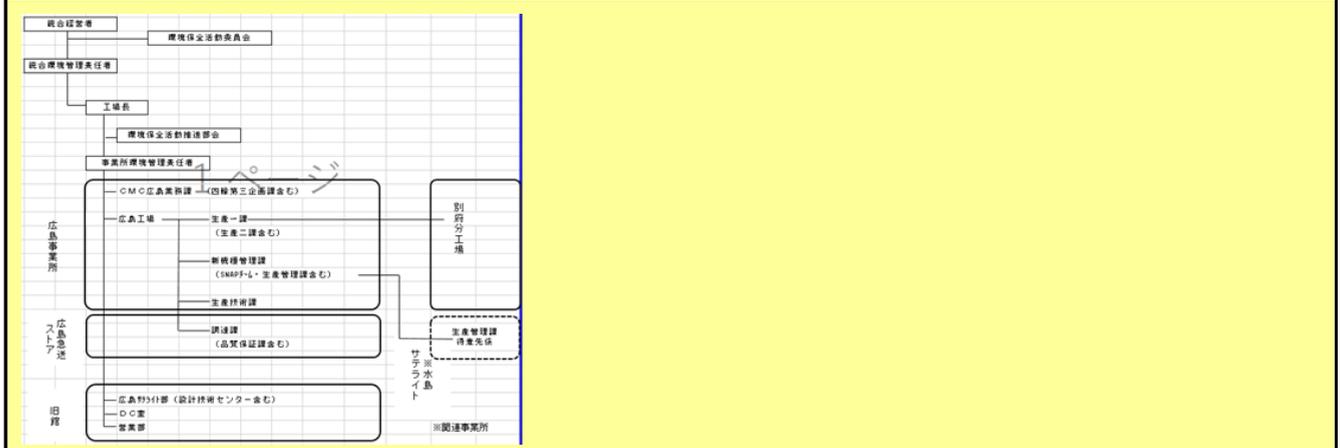
○ その他の取組

| | 項目 | 数値目標 | 具体的な取組 |
|---|----|------|--------|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ・毎月広島環境保全部会で確認
- ・毎月全社省エネ省資源連携会議で確認

(3) 計画書等の公表

統合報告書で全社とサイト別パフォーマンスデータで公表(ホームページ)